

P01

P02



Top Message

2000年1月に創業し、同年11月法人化し、今年で無事、設立25周年を迎えることができました。
関わってきた全ての方々のお陰だと思っています。
建築しか経験のなかった私が福祉用具、介護事業、不動産、飲食業、旅行事業、障がい者支援事業、保育事業と多様化したのには理由があります。決して会社を大きくしたいと思ったことはありません。
当時、20代で会社を起こし、お金も人脈もなく、頭脳もない中、唯一あったのは若さだけです。
逃げも隠れもできないよう、生まれ育ったこの街川口で、たった2人でスタートしました。
寝る間も惜しんで働き続けました。そんな私たちに、この街の人たちが仕事の依頼をしてくださり協力していただける業者様も増え、応援してくれました。
この25年を振り返れば、地域の方々に助けられ、育てられた会社だと思っており、そして今があります。
「地域に恩返しをしたい」その一心で、お客様の声を拾い、様々な事業が

この街の誰もが、
笑顔になれる街になるように――

生まれました。
特に、福祉分野に関しては新しい事業を展開すれば、あれが足りない、これが足りない、と次々に課題が見えてきました。
困っている人がいる、次はこんな事業をしなければいけないという、勝手に使命感が湧いてきてしまいます。
生まれ育ち創業したこの街の誰もが、笑顔になれる街になるように、と。
当初、想像もできませんでしたが、今となってはグループ会社6社、職員は400人を超えました。
社会的責任が増え、これからもお客様、職員を守っていかねなければならない、と深く感じております。
そして、全ての人に感謝をし、新たな目標を掲げ、これからも走り続けます。

株式会社ピュアホームズ 代表取締役
嶋田 悟志



President interview

会社理念を胸に刻んで

会社設立の数年後、事業展開を図る中で、会社とは、と考えさせられる場面がありました。

会社は住宅改修から始まりその後、介護事業部ができて。

それぞれの部署のプロフェッショナルが動き出した中で、各部署がしっかりと仕事を遂行してくれてはいたけれど、それぞれ孤立するかのように、気持ちも動きもバラバラに感じた。

これは自分が描く会社像とは違う、と思っていました。

そんな矢先、住宅改修の福山(現 常務)と訪問介護の相川(現 介護事業本部 部長)が、たまたまある現場で居合わせた。その時、お互いが現場で動く様子を見、手段は異なれど利用者様に寄り添い、より快適にお過ごしいただくサービスをご提供する、ということに何ら変わらないことをお互いが悟った、という話を聞かせてもらいました。

これぞまさに、同じ傘の下、会社組織としてお客様の幸せを願い、顧客満足度を高め、心を一つにして動く意義があるのだ、と思い、会社理念がじわじわと浸透していくと感じた瞬間でした。

それぞれの部署を理解し、仲間意識を感じながら一致団結する強さ、それはお客様のサービスに反映され顧客満足に繋がっていくと信じています。



企業の芯にある理念と人間味

Side of privacy

家庭ではどんな夫？どんな父親？

休みの日、料理はだいたい自分が作ってます。よくBBQをやったり、パスタを作っています。あ、リストランテ谷澤のシェフに負けない腕前だと評判です(笑) 子ども達が小さい頃は、仕事が忙しくてなかなか遊んであげられなかったから、唯一、旅行だけは早々に予定を立てて毎年、家族旅行の時間を楽しんでいます。けっこうマメなので、旅行メモもずっとつけてるんですよ。



ストレス発散は

とにかく走る！
不安が募りすぎて眠れない時、夜中に走って汗かいて帰ってくるとああ、大丈夫だ、と思える。

様々な人との出会い

プライベートでも仕事でもいろいろな人に出会ってきました。諦められない相手には、とことん向き合っています。結果、裏切られるなら、それは相手が悪いのではなく、すべて自己責任、というのが自分の考え方で、その発想の方が自分を前向きにしてくれます。深い縁、と言えは約40年前の高校時代から長く付き合ってきた妻であり、福山常務で自分と苦楽を共にしてきてくれた二人です。

